

こうとう民報

2010年 8月 No.70

江東区の職場・地域、議会など
くらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行
こうとう民報編集委員会
責任者 今井 栄一
住所 江東区亀戸7-39-1-501
電話3648-5155FAX3648-5137
ホームページ
http://www.koto-minpo.jp/



原水爆禁止2010年世界大会=写真上 8月6日全体会 下は江東の参加者

江東区から7団体16人が参加

江東原水協は、7月30日に原水爆禁止2010年世界大会「広島」の成功への結団式を行いました。結団式には「江友会」や核不拡散条約(NPT)再検討会議に参加した代表も参加、「ふたたび被爆者を作らない」「核兵器のない世界」をめざして運動を強めるなど発言がありました。

広島には東京土建江東支部、共産党江東地区委員会、都教組江東支部、きかんし印刷労組、江東民主商工会、徳和会、江東区職労の7団体から16名が参加



アメリカが広島に原爆を投下してから65年。式典に国連事務総長が初めて出席。核保有国のアメリカ、イギリス、フランスの代表も初

参加。世界大会はこの日、被爆者とともに、若いエネルギーを結集し、「核兵器のない世界」の実現に向けて前進しようとする「広島からのよびかけ」を採択しました。平和市長会議から2020年までの核兵器廃絶の期限を切った提起がされました。

江東の代表団は、「核兵器をなくす青年交流集会」や「自治体での非核・平和のとりくみ」「動く分科会・岩国・呉基地調査行動」などに参加、原爆資料館など見学してきました。

反核マラソン炎暑を走る...



第15回反核平和マラソンにこうとう民報編集部から参加しました。夢の島から代々木公園への全コースのうち、夢の島ー江東区役所ー東京海洋大学までの区間6.1kmのコース。気温35度、熱中症対策の水を充分補給して10時10分スタート。宣伝カーが「反核マラソンです。核兵器廃絶を」と呼びかけ、ランナーも「核兵器のない世界を子どもたちに」など叫びながら走りました。片手をあげてくれる道路警備の男性、小さな子連れの女性たちの「頑張って」に勇気をもたらします。勿論、無視されたり、迷惑そうな顔をもされま

すが、ここが頑張るところです。少し疲れたなと思ったころ、ギターが弾かれ、「青い空は青いままで」の歌が流れ、参加した若者が唄いながら軽快に走っています。改めて「未来は青年のもの」「核兵器のない世界は必ず来る」と思い最後まで走り抜くことが出来ました。(E)

朝騒

65回目の終戦記念日。静謐(ひつ)を取り戻した青空を仰いだ

築地市場の移転予定地となっている豊洲・東京ガス跡地は、その土壌や地下水が発がん性のベンゼンや猛毒のヒ素に高濃度に汚染され、幅広い都民や市場関係者から「食の安全を守れない」と、移転を中止し、現在地での再整備を求め

る声があがっています。しかし、あくまで移転強行の立場の東京都は、「汚染対策」を推進するとして「技術会議」「専門家会議」を作り1月から6月にかけて「土壌処理実験」を行い3月には「確実に処理できる」(中間報告)

と安全宣言。また8月2日には「処理後に汚染土壌が環境基準以下になったことを確認した」との最終報告をおこないました。この報告に識者、市場関係者、広範な都民から「科学的根拠がない」「誇大宣伝」との批判の声が上がっています。それは3月に発表された中間報告では、実験前の土壌にどれだけの汚染物質が含まれているかを公表せず、日本共産党都議団の繰り返し開示要求に、都が開示した文書は初期値など重要な項目はすべて曇りという、ごまかしに満ちたものでした。また、最終報告で基準値の4万3千倍の

また工場閉鎖後の盛土の汚染について「汚染原因が特定できない、再調査し処理する」など、とても「確実に処理できる」という状態ではありません。この重大な「食の安全」の問題に対して、区長は都・区民の安全を守る積極的立場に立たず「都の態度を見守る」といまだに移転受け入れ方針を取り消していません。区議会では自民は移転推進、都議会で築地市場移転予算に賛成した民は区議会でも正面からこの問題を取り上げる

現在地での再整備実現を

と連携し、「現在の技術を持って築地現在地で整備を」「豊洲移転は白紙撤回」「都はすべての情報を公開し、公正な立場の専門家の参加を得て、実験の全面検証を行う」ことを求め、識者、市場関係者、広範な都・区民の方々と「食の安全」を守るため区議会内

外で運動に取り組んでいます。訴えかけているのではないのでしょうか。

平和・くらし風土記 50

愉快で大らかな俳人 橋本夢道

第7回多喜二・百合子賞(1975年)を受賞した橋本夢道は、1903年(明治36年)徳島県の小作農に生まれ、15歳で上京、深川一色町(現・福住)の肥料問屋の小僧になり住み込みで働きました。

20歳の時、自由律俳句誌「層雲」に参加。「層雲」江東支部発足(深川不動尊前のきんつば清水)では幹事となり、毎月1回句会を開きました。夢道24歳のとき、畳屋の18歳の娘・静子に恋をし箱根・塔の沢に婚前旅行。そのとき「透明な温湯壺に沈ませている裸形の恋人も」と詠み、その後自由結婚がバレて店を誠首されます。

夢道27歳の頃よりプロレタリア俳句運動に参加、33歳のとき銀座8丁目に汁粉屋「月ヶ瀬」を開店、「餡蜜」を考案して「蜜豆をギリシャの神も知らざりき」と詠み、販売を拡大しました。

戦争の拡大とともに、俳句にも警察の弾圧が襲いかかり、1941年2月5日、夢道は治安維持法違反で逮捕され2年間獄中生活をおくります。太平洋戦争が始まったのはその年の12月です。夢道は「大戦起こるこの日のために獄をたまわる」と詠み、また「うごけば、寒い」と獄中生活を詠んでいます。

戦後、1946年の新俳句人連盟創立大会に参加。21回メーデー(人民広場)を、「メーデー10時ぎっしりぶち込んで60万」と詠み、その後の江東区や亀戸の弾圧の状況を、「弾圧続くさみだれは江東区を低くして降る」「亀戸や日まわりの花終わりなば地にうつ向き」と詠んでいます。夢道の3冊の句集『無礼なる妻』『良妻愚母』『無類の妻』のすべてに『妻』の字があるように、大変な愛妻家で、「妻よおまえはなぜこんなにかわいんだらうね」の句もあります。夢道は「無礼なる妻」の後書きで「俳句は、民族の正統なる詩でなければならない。……民族が生きるための文学でなければならない。……(私は)さらにつみかさねてきた」と述べていますが、この堅い重い言葉も、夢道の句で優しく分かりやすく昇華されていることにホッとします。



世界の核廃絶運動をリードしている日本の原水禁運動の直接の動機となった「ビキニデー」から58年。江東健康友の会9条の会が主催の「戦争体験を語り継ぐつどい」の今夏のテーマは夢の島の「第五福竜丸」でした。7月31日猛暑の午後、総合区民センターに26人が参加。参加された二口裕子さんから寄せられたつどいの概要と感想をご紹介します。



展示館の第五福竜丸

江東健康友の会9条の会 「戦争体験を語り継ぐつどい」

今回は、「映画・第五福竜丸」鑑賞と展示館のボランティアガイド・小林龍雄さんのお話でした。

昭和29年2月、家族や地域の人たちに見送られ、テロプの舞うなか焼津港を出港した木造船の第五福竜丸は、3月1日未明に太平洋ビキニ環礁で「死の灰」を被り帰港します。乗組員は放射能症と診断され入院。その症状は、白血球が激減し、免疫力が低下し、更に骨髓細胞力の低下で血液が造れなくなってしまうそうです。

「ストロンチウム90なんてものが体に入ってるんじゃないだろうがない」と乗組員のお話を聞きました。

昭和29年には直接の戦争はなかったが、米ソは核競争の準備で盛んに核実験をおこなっていた。第五福竜丸の被害はそのようななかで起きた事件でした。

映画鑑賞に続いて小林さんのお話を聞きました。

昭和29年には直接の戦争はなかったが、米ソは核競争の準備で盛んに核実験をおこなっていた。第五福竜丸の被害はそのようななかで起きた事件でした。

「映像は胸につきささり、スバいの嫌疑やアメリカからの見舞金分配のトラブル等が乗組員の気持ちを傷つけていきます。その様子には涙が止まりませんでした。9月13日、最初の犠牲者・久保山さん死亡。死の直前には「私を最後にして欲しい」と言い残したそうです。

実験をする場合、いつでもどこで、と通知するのが通常。アメリカ側は通知したと主張したが、日本政府は聞いていないと言っていました。さらに、危険区域は130km四方とのアメリカの指定に対して、第五福竜丸は160kmも離れていました。この水爆は四つの島が吹き飛ばされるほどの想像を超える威力をもっていたのです。この実験にはアメリカの予測の誤りがあったそうです。その時の「キノコ雲」は35km以上の上空に上がり、ジェット気流に乗って東に流れて行きました。「ガイガー検知器」は連日ニュースに登場、降雨に含まれる放射能におびえ、魚だけでなく野菜、果物、米等の汚染を日本中が心配しました。

平和な緑の地球を守るために、7月31日、ユネスコの世界遺産委員会は、ビキニ環礁を世界文化遺産に登録しました。

「戦争体験を語り継ぐつどい」の今夏のテーマは夢の島の「第五福竜丸」でした。7月31日猛暑の午後、総合区民センターに26人が参加。参加された二口裕子さんから寄せられたつどいの概要と感想をご紹介します。

行事

■9月5日(日) 13時 亀戸事件87周年追悼会 亀戸・浄心寺

■9月14、20日(祝) 10、18時(初日は11時) 「原爆と人間展」 江東文化センター・2F展示フロア

■9月25日(土) 13時30分 江東うたこえ交流会 総合区民センター・レクホール

許せない！ 後期高齢者医療制度



私は3月からこれまでの国民健康保険から、後期高齢者医療になり都広域連合からの保険料額決定通知書を見てビクリしました。

夫婦とも昨年と収入はほとんど変わらないのに、国保の時の私の年間保険料の3万7900円は一気に3倍の9万9624円に、夫は昨年の後期高齢者医療の保険料が6400円から3万7800円と昨年の7倍になりました。

江東区役所からの説明書ではよく分らず、区役所に電話しました。

担当課は「奥さんが後期高齢者になったので夫の均等割が減額されず満額になったこと。奥さんは均等割3万7800円に加え、所得割が課税対象額の7・18%(昨年は所得割額は6・58%でした)から多くの高齢者が値上がりした」が加算されたため10万円に近い保険料となった」との回答でした。

「収入の多い奥さん(200万円)が後期高齢者医療に加入されたので、夫の均等割を減額する必要はなくなった」との説明です。

「これからも年々値上がりする高齢者医療の保険料、病気になるってお金が続かず医者にかかれない高齢者、後期高齢者医療制度は直ちに廃止を！」と語ります。(T)

担当課は「奥さんが後期高齢者になったので夫の均等割が減額されず満額になったこと。奥さんは均等割3万7800円に加え、所得割が課税対象額の7・18%(昨年は所得割額は6・58%でした)から多くの高齢者が値上がりした」が加算されたため10万円に近い保険料となった」との回答でした。